夏休みは「土台固め」に集中を

受験生にとって、夏休みはまとまった勉強ができる大切な期間です。なにより求められるのは、秋からの志望校対策に向けて、各教科の土台をしっかり固めること。学習法や心構えについて麻布個人指導会の先生に聞きました。
（協力：麻布個人指導会）

計画はゆとりをもたせて

受験生の夏休みは、通っている塾の夏期講習などでいそがしくなりがちです。この期間をより充実させるには、事前の「準備」と「学習計画」がカギになります。

夏期講習では、これまで習ってきた内容を総復習するのが一般的。それぞれの単元の基礎をおさらいするには効果的ですが、どうしても「広く、浅く」の授業になる傾向があります。

そこで重要になるのが、事前の準備です。講習のスケジュールに合わせてテキストに目を通したり、例題を解いておいたりすれば、ただ授業を受けるより理解度が高まるにちがいありません。知識事項を見直して苦手分野を確認しておくことも大切です。授業中は集中して、基礎的な事項をしっかり理解しましょう。

一方で、計画づくりも自宅学習を進めるうえで欠かせません。夏期講習を受ける場合は、あいている時間に取り組みたい教科を割りふります。「△時から△時／算数の問題集を□ページまで進める」と具体的な内容まで決めると、目標が明確になります。計画にはゆとりをもたせ、1週間ごとに進み具合をチェック。進行がおくれているときは、柔軟に修正しましょう。

計画には、得意科目を加えておくのもおすすめです。基礎や弱点分野の復習ばかりでは、気分が下がり気味になってしまうかも……。バランスよく得意科目に取り組むと、モチベーション（やる気）を高められます。発展問題にチャレンジしてもいいかもしれません。

体調管理も重視

夏休みは体調管理にも気を配ります。生活のリズムを守り、睡眠時間を十分に取ることが大切。起きる時間とねる時間は毎日、一定に保ちましょう。夏期講習の宿題をやりきれない場合は、思いきって切り上げるのも選択肢の一つです。終わらせることを優先して睡眠不足のまま出席したら、体調をくずす心配があります。

また、勉強はもちろん大事ですが、気分転換も忘れてはいけません。家族といっしょに過ごしてリフレッシュする時間は、心にゆとりをもたらしてくれます。保護者には、こうした視点からも受験生を見守ってほしいと考えます。

国語　基本の読解力を習得

品川高廣先生

国語は、読解問題の素材文（物語文や論説文などの文章）を「読み解けるかどうか」によって、差がつきやすいもの。秋以降は志望校対策に入るので、夏休みは、土台となる「読む力」を身につける絶好の機会です。ポイントを見直しておきましょう。

物語文では、「登場人物と、その関係性」「心情の描写」「会話文」が重要です。これらに注意しながら読み、内容と流れをつかみます。論説文では、「くり返し」や「対比」の部分に注目し、筆者の意見をとらえます。

長めの文章を読む練習を

最近の中学入試では、大学入試で出されるような難しい文章が登場することも少なくありません。また、男子校の入試で、「女子の心情を読み解く」といった問題が出されたケースもありました。自分自身とは異なる立場や視点の文章を読み解く――。より高い読解力を求める傾向が、とくに難関校でめだっています。

こうした問題には、多くの文章を読むことが一番の対策になります。テキストやテストの読解問題など、教材はなんでもよいので、長めの文章を読む練習を重ねましょう。過去に理解できなかったタイプの文章を読み返して、「なぜ読みにくかったのか」を分析することも有効です。

読解の練習とあわせて取り組みたいのが、言葉の知識を増やす学習です。わからない言葉が出てきたら必ず辞書で意味を確認。実際に書いて練習し、身につけていきましょう。「切ない」「やるせない」など、心情にかんする言葉の知識が増えていくといいですね。

算数　解けた問題にマーク

富永恭子先生

夏休みにぜひ取り組んでほしいことを二つ紹介します。一つは、テキストの問題で「自分の力で解けた問題の横にマークをつけていく」ことです。

意外に思われるかもしれませんが、塾の授業を理解することと問題を実際に解くことは別物です。先生が説明した解法は理解したつもりだったが、自分で問題を解こうとしたらできなかった――。そんな経験をする受験生は少なくありません。

夏からは「自分で解き切る」練習を意識し、解けた問題にマークをつけていきましょう。成果が目に見える形で残るので、楽しく学習できるはずです。

もう一つは、「夏の間に達成したい課題を一つ、自分で決めて取り組む」というものです。目標は、「倍数に強くなる」などのように、せまい範囲でかまいません。

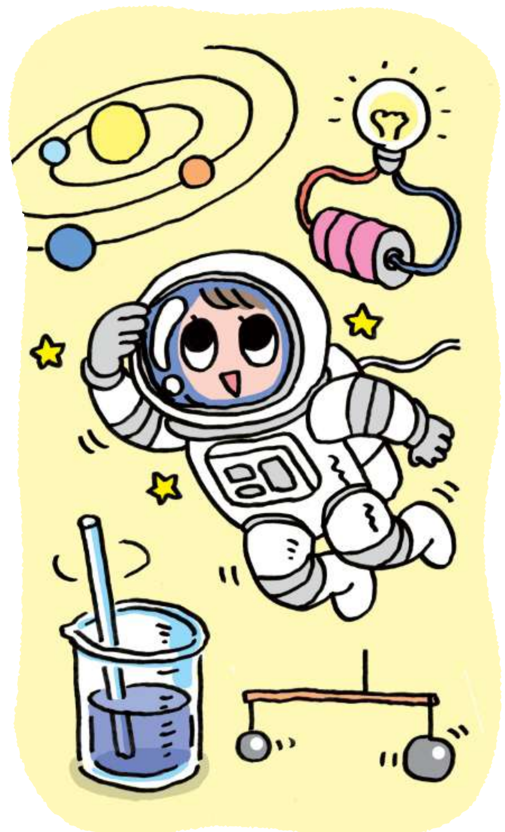
保護者などが決めたものではなく、自分で見いだした課題であることが重要。主体的に算数に向き合うことになるからです。その結果、算数への興味や感覚がみがかれて、力を大きく伸ばした受験生もいました。学習に対する姿勢にも、よい影響をおよぼすのではないでしょうか。

計算ミスを減らすには

計算ミスが多いことになやんでいる受験生はいませんか。ミス防止に役立つ方法を紹介します。それは「見直しをしない覚悟で計算する」というもの。計算は何度もするより、「ここで決着をつけよう！」と集中して1問ずついどむ方がミスが減ると、私は経験から感じています。みなさんも一度、試してみてください。

理科　原理・原則を理解

西村賢治先生



理科の夏期講習では、物理・化学・生物・地学の4分野について全範囲を復習します。「この機会を利用して知識を完璧にしよう」と考える受験生がいるかもしれませんが、理科の知識事項の量は膨大です。きっと高いハードルになってしまうでしょう。

それよりも夏期講習では、各単元の「決まりごと」に注目し、それらを理解することを優先してほしいです。決まりごととは、理科的な現象の基本の仕組みのことで「原理・原則」ともいいます。

原理・原則の理解が重要な単元は、物理分野では「てこ・ばね、電流・電圧」、化学分野では「水溶液の性質（溶解度と飽和水溶液の関係）」、生物分野では「植物（光合成・蒸散）」、地学分野では「天体、天気図」などです。

基礎的な事項を理解しておけば、秋以降の問題演習で必ず役に立ちます。また難関校では、原理・原則が理解できていないと解けない応用的な出題が増えています。原理・原則を意識した学習を心がけましょう。

志望校対策はあせらず

理科の入試は、学校によって出題傾向が大きく変わります。「早めに過去問（実際の入試問題）の対策をしたい」と考える受験生がいるかもしれませんが、志望校は今後変わることもあるでしょう。この時期はまんべんなく学習を進めることをおすすめします。

早い時期に過去問を解くと、入試レベルの問題に対応できずに自信をなくす受験生もいます。過去問活用のタイミングは、学習の進度や学校選びと合わせて判断するのがいいでしょう。

社会　資料で知識を強化

鷹橋朋彦先生

社会には歴史・地理・公民の3分野があります。受験生は夏休みに入る前に、各分野で得意・不得意なところを洗い出しておきましょう。

最近の社会の入試は多様化がめだち、単純に「暗記の教科（科目）」とは呼べない出題内容が増えています。したがって、知識をやみくもに暗記しても、志望校の傾向に合わなければ本番対策にはなりません。

この時期におすすめしたいのは、まず保護者が志望校の出題傾向をざっと確認することです。その傾向と本人の力を照らし合わせ、弱点の補強につながる学習計画を立てるのが有効な対策の一つとなります。

分野別に、おさえておきたいポイントを紹介しましょう。歴史分野と公民分野は、基本的な知識の定着が欠かせません。テキストの太字で書かれた知識は「覚える→確認→忘れていたら覚え直す」の作業を入試本番までつづけます。

地理分野では、資料やグラフを使った学習がおすすめです。資料やグラフの読み取りと関連させて知識を問う出題が増えているからです。資料集をこまめに見る習慣をつけましょう。

記述問題の対策も

入試では記述式で解答を求める出題も増えています。パターンは大きく三つあり、「定型的な用語の説明、出来事の理由を書く」「資料やグラフを読み取り、自分の意見をまとめる」「社会の問題などを大きな視点でとらえて論じる」と分けられます。ここでも志望校の傾向を知り、対策を進めることが必要になります。

260校にのべ722名の受験生が合格いたしました

2026年 中学受験合格実績（五十音順）

男子 ～134校のべ391名の輝くゴール～

青山学院	2名	成城	5名
浅野	5名	世田谷学園	6名
麻布	5名	専修大松戸	5名
市川	7名	高輪	5名
栄光学園	3名	中央大附属	2名
海城	6名	筑波大駒場	2名
開成	3名	東京都市大付属	9名
開智	9名	東京農大第一	3名
学習院	4名	桐朋	4名
暁星	1名	東邦大東邦	5名
慶応湘南藤沢	2名	獨協	5名
慶応中等部	1名	都立立川国際	1名
慶応普通部	4名	都立富士	1名
攻玉社	7名	広尾学園	4名
国学院久我山	3名	広尾学園小石川	3名
駒場東邦	5名	法政大学	3名
栄東	18名	法政第二	3名
サレジオ学院	2名	本郷	6名
芝	8名	武蔵	3名
芝浦工大附属	2名	明大世田谷	4名
渋谷教育渋谷	5名	明大中野	7名
渋谷教育幕張	4名	明大明治	2名
城北	8名	立教池袋	2名
巣鴨	5名	立教新座	5名
逗子開成	4名	早稲田	6名
成蹊	2名	早稲田高等学院	3名
聖光学院	5名	早稲田実業	3名

他多数合格

女子 ～126校のべ331名の輝くゴール～

青山学院	2名	成蹊	4名
青山横浜英和	2名	成城学園	3名
跡見学園	5名	洗足学園	5名
市川	6名	中央大附属	3名
浦和明の星	6名	中央大附属横浜	2名
桜蔭	3名	筑波大附属	1名
鷗友学園	5名	東京女学館	5名
大妻	8名	東邦大東邦	5名
大妻中野	5名	東洋英和	5名
学習院女子	5名	豊島岡女子	4名
神奈川大附属	2名	都立三鷹	1名
吉祥女子	4名	日本女子大附属	2名
共立女子	5名	広尾学園	3名
慶応湘南藤沢	1名	フェリス女学院	1名
慶応中等部	2名	雙葉	2名
恵泉女学園	4名	普連土学園	4名
晃華学園	2名	法政大学	2名
香蘭女学校	4名	法政第二	3名
国学院久我山	3名	三田国際科学	2名
栄東	15名	三輪田学園	5名
実践女子学園	4名	明大世田谷	2名
品川女子学院	3名	明大明治	2名
渋谷教育渋谷	2名	山脇学園	7名
渋谷教育幕張	3名	横浜共立	2名
頌栄女子学院	4名	横浜雙葉	1名
女子学院	5名	立教女学院	3名
白百合学園	3名	早稲田実業	1名

他多数合格

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

学生は一切派遣していません

入会金不要の「夏休み集中授業」のご案内

志望校合格のため秋以降に志望校対策が本格化します。そこで夏休み中の学習目標として多くの受験生が、苦手分野の克服と基礎固めをあげると思います。では、具体的に何をどのようにやれば効果があがるのでしょうか。それは勉強のコツを熟知しているプロ家庭教師にお任せください。一緒に夏を乗り切り、努力を実力に変えて合格に近づきましょう。

入会金は不要です

6時間コース	8時間コース	10時間コース	14時間コース	20時間コース
54,450円	71,280円	87,450円	119,350円	163,900円

夏休み明けから継続して受講の希望も承ります

①夏休み期間中のご案内になりますが、夏休み前からやお盆時期のみの受講もできます。また、オンラインでの受講も可能です。
②上記の指導料は税込です。別途、講師の交通費がかかりますが、入会金を含めてその他の費用はありません。
③1回2時間で回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
④本コースに体験授業はありません。初回の指導終了後、伺った講師にご納得いただいた場合には、予定回数分の指導料をご請求いたします。万一、講師が合わなかった場合には、2回目から別の講師で受講していただくか、またはキャンセルすることもできます。その場合は初回の指導料のみご請求させていただきます。
⑤全ての指導終了後、追加があった場合にはその分をご請求いたします。逆に未消化分が生じた場合には返金いたします。

学生は一切派遣していません

創立40年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

「通常コース」のご案内

当会で長く活躍しており、人柄も推奨できる講師のみ派遣しています。そのため「無料の体験授業」と「指導料の後払い」を実現できています。

入会の制約のない体験授業

講師へのご要望は事前に教務スタッフがお聞きいたします。このご相談と、その後の授業はオンラインでも承っております。

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業前の申込書へのご記入などはありません。
■体験授業はご要望に合わせて人選した講師で行います。体験授業だけでなく継続して指導に伺える講師です。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後にお話しする時間も含めて、合計2時間程度の時間をお考え下さい。

指導料は完全な後払い

●入会金 33,000円（税込）→ 19,800円（税込）一家庭1回で兄弟姉妹にも有効 ※広告有効期限：2027年1月末日まで
●月額指導料 52,800円～79,200円（税込）［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。
※指導料の幅は講師の経験・実績によります。ご要望を加味して人選いたします。
○指導料は月単位の完全な後払いです。翌月に行った授業時間分をご請求いたします。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費（実費）のみで、その他不明瞭な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後、万一講師にご不満を持たれた場合には、速やかに後任の講師を人選いたします。

創立40周年 入会金【40%割引】実施！

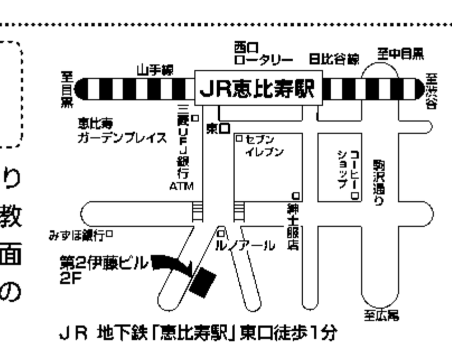
税込 33,000円→19,800円

※一家庭1回で兄弟姉妹にも有効　広告有効期限：2027年1月末日まで

麻布個人指導会は創立40周年を迎えました。その節目にあたり、入会金40%割引キャンペーンを実施いたします。講師一人ひとりの経験・実績・人柄などの質と、全体としての層の厚さが創立以来培ってきた当会の最大の強みです。現状に少しでも不安があれば、この機会にぜひご相談下さい。これまでも、そしてこれからも中学受験を支える家庭教師を派遣いたします。

中学受験専門の講師による1対1個人指導教室を併設

家庭と教室とで指導する講師に違いはありません。全員が中学受験専門の講師です。教室は広い空間を確保し、圧迫感のない対面形式の授業を実現しています。また、授業の前後には自習室としての利用も可能です。



JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

当会は朝7:30より業務を行っております。
朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ・ご来訪ください。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会

●固定電話から 0120-14-3004
●携帯電話から 03-3440-1940
《受付時間》朝7:30～夜8:00（日・祝除く）※当会は朝7:30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。

●HPで最新情報更新中
麻布個人指導会 検索
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F